

船舶電気関係記事年表(昭和40～44年)

(雑誌「船舶」、「船の科学」より)

西暦(和暦)		著者	備考
1965-2「船舶」 VOL.38 NO.2 (昭和40年2月)	・船位自動測定装置について --Ship's Positioning System (青函連絡船 津軽丸型の完成まで) ・(写真解説)オールトランジスタ ロランML-10型	田中正吾 (国有鉄道船舶局) 東京計器	
1965-3「船舶」 VOL.38 NO.3 (昭和40年3月)	・無機絶縁電線を使用した船舶の電気艦装について ・津軽丸のヒーリング装置	日立造船因島工場 石黒 隆 (日本国有鉄道)	
1965-4「船舶」 VOL.38 NO.4 (昭和40年4月)	・新青函連絡船 津軽丸の機関制御装置について (青函連絡船 津軽丸の完成まで)	向阪昭二 (日本国有鉄道 船舶局)	
1965-6「船舶」 VOL.38 NO.6 (昭和40年6月)	・デッキについて ・3相交流カーゴウインチにおける結線法 (海外文献紹介)	松尾公夫 (海上保安庁)	
1965-7「船舶」 VOL.38 NO.7 (昭和40年7月)	・セイコー船用水晶時計について	十代田洋勝 (精工舎)	
1965-8「船舶」 VOL.38 NO.8 (昭和40年8月)	(航海と船用電子計算機) ・船用電子計算機概説 ・計算機による球面三角解法 ・中小型巡視船の冷暖房装置について ・青函連絡船 津軽丸型エンジン・ロガー	庄司和民 巻島 勉 (東京商船大学) 岩平 滋 (海上保安庁) 相沢哲也、岡本隆雄 (富士通)	
1965-10「船舶」 VOL.38 NO.10 (昭和40年10月)	・砕氷艦“ふじ”の電気推進装置 ・南極観測船“ふじ”搭載の水晶時計装置について	井原建策 (富士電機) 中山、大木、石川、 十代田(精工舎)	
1965-11「船舶」 VOL.38 NO.11 (昭和40年11月)	・(航海と電子計算機) コンピューティング・ロガーの応用 ・航海ロガーについて(Navigation Logger) (青函連絡船 津軽丸型の完成まで) ・船用主ディーゼル機関遠隔縦装置およびデータロガーの標準仕様について	高杉 将 (東京計器) 力石昭次 (東京計器) 日本造船関連工業 会船舶自動化計器 研究委員会	
1965-12「船舶」 VOL.38 NO.12 (昭和40年12月)	・船舶内電気回路の短絡電流とその保護について ・船舶交流発電機の自動化 ・船舶交流発電機の近代化 ・交流ウインチ ・村山電機の小型電気水温計	森 英夫 (電気試験所) 元木知春 (三菱電機 長崎) 馬場俊晃 (三菱電機 長崎) 元木知春 (三菱電機 長崎) 村山電機	製品紹介
1966-1「船舶」 VOL.39 NO.1 (昭和41年1月)	・国際自動化シンポジウムに出席して(1) ・船舶の自動化とデジタル電子計算機	米原令敏 (三菱重工 本社) 木村小一 (船舶技術研究所)	
1966-2「船舶」 VOL.39 NO.2 (昭和41年2月)	・国際自動化シンポジウムに出席して(2) ・親子機関使用 小形自動化タンカー第35星宝丸 ・(写真解説)ジャイロコンパスTG-100およびマリンレーダーMR-32	米原令敏 (三菱重工 本社) 立花康夫 (富士電機) 東京計器	
1966-3「船舶」 VOL.39 NO.3 (昭和41年3月)	・国際自動化シンポジウムに出席して(3) ・電子計算機による最適航法	米原令敏 (三菱重工 本社) 杉崎昭生 (東京商船大学)	
1966-4「船舶」 VOL.39 NO.4 (昭和41年4月)	・東京丸に装備された発電設備の自動化 ・国際自動化シンポジウムに出席して(4)	東芝 米原令敏 (三菱重工 本社)	

1966-5 「船舶」 VOL.39 NO.5 (昭和41年5月)	・国際自動化シンポジウムに出席して(5) ・ベクトル計算機 ・船用電子計算機の立場よりみたトルー・モーションレーダー	米原令敏 (三菱重工 本社) 楠 順三 (東京商船大学) 田口一夫 (鹿児島大学)	
1966-7 「船舶」 VOL.39 NO.7 (昭和41年7月)	・タンデム形ウインチ(直流冷却式電動機使用) ・船用回転電機の最近の製品概況	大谷文雄 (富士電機) 西尾又一 (神鋼電機)	
1966-8 「船舶」 VOL.39 NO.8 (昭和41年8月)	・ソーナー型魚探の解説(1) ・(写真解説)浦賀スルザーRD型ディーゼル機関の遠隔自動操縦装置の開発	田中磯一 (光電製作所) (日本電気)	
1966-9 「船舶」 VOL.39 NO.9 (昭和41年9月)	・(航海と船用電子計算機) 船用レーダシミュレータについて ・国際自動化シンポジウムに出席して(6) ・ソーナー型魚探の解説(2)	田辺 稔 (東京商船大学) 米原令敏 (三菱重工 本社) 田中磯一 (光電製作所)	
1966-10 「船舶」 VOL.39 NO.10 (昭和41年10月)	・艦艇の自動化について(1) ・ソーナー型魚探の解説(3)	艦艇自動制御装置 委員会 田中磯一 (光電製作所)	
1966-11 「船舶」 VOL.39 NO.11 (昭和41年11月)	・艦艇の自動化について(2) ・SCRの原理とその応用	艦艇自動制御装置 委員会 仁田工吉、沖津泰 吉成英二 (徳島大学)	
1966-12 「船舶」 VOL.39 NO.12 (昭和41年12月)	・艦艇の自動化について(2)	艦艇自動制御装置 委員会	
1967-1 「船舶」 VOL.40 NO.1 (昭和42年1月)	・艦艇の自動化について(3)	艦艇自動制御装置 委員会	
1967-2 「船舶」 VOL.40 NO.2 (昭和42年2月)	・商船用コース計算機の海上評価試験	海外文献紹介	NAVIGATION VOL.12 NO.1 Spring 1965
1967-3 「船舶」 VOL.40 NO.3 (昭和42年3月)	・(製品紹介)新開発のシンクロ・ソナーSR-670型	光電製作所	
1967-4 「船舶」 VOL.40 NO.4 (昭和42年4月)	・(製品紹介)古野電気の多彩な各種新製品	古野電気	ソーナー、ファクシミリ、無線方向探知機など
1967-5 「船舶」 VOL.40 NO.5 (昭和42年5月)	・最近の船用標準三相誘導電動機 ・(写真解説)東京計器の超小形ジャイロコンパスES-10シリーズ	子安英次、阿部義久(富士電機) 東京計器	
1967-6 「船舶」 VOL.40 NO.6 (昭和42年6月)	・ヒューズ付埋込しゃ断器	山本啓一 (三菱電機 福山)	
1967-7 「船舶」 VOL.40 NO.7 (昭和42年7月)	・夕路丸の計装について ・電波を用いる新方式の船舶速度測定装置(MARSMEC)について ・極超短波のドップラー効果を利用した船舶速度計測装置 ・小型水晶時計セイコークリスタル・クロノメータ951-II型 ・ZERO SCAN SYSTEM(多個所自動監視装置) ・(製品紹介)村山電機の常時監視形サーモニト式温度コントローラ(TC形電子温度調節器) ・(写真解説)ジャイロットGLT-100シリーズ ・(写真解説)船舶搭載電子計算機 CARGO COMP	東京商船大学 柴田幸二郎 春日井敬彦 (安立電波) 神戸工業 川崎重工業 相沢進、海保国彦 (諏訪精工舎) 理化電機 村山電機 東京計器 日本鋼管、沖電気	1:1 監視方式 積付計算機

1967-8「船舶」 VOL.40 NO.8 (昭和42年8月)	・北海道デッカチェーンの測定試験結果について(1) ・(写真解説)光電エレクトロクス "ショウ"	只野 暢 (海上保安庁) 光電製作所	シンクロソナー、ロラン、方探、魚探 ファックス など
1968-2「船舶」 VOL.41 NO.2 (昭和43年2月)	・(製品紹介)東京計器の最新形マリンレーダ MR-32C, MR-32D	東京計器	
1968-4「船舶」 VOL.41 NO.4 (昭和43年4月)	・北海道デッカチェーンの測定試験結果について(2) ・(製品紹介)古野電気新発売の超高分解能大型 レーダ" FRA-30"	只野 暢 (海上保安庁) 古野電気	
1968-5「船舶」 VOL.41 NO.5 (昭和43年5月)	・回転数制御方式の主蒸気タービンのリモート・ コントロールについて ・(写真解説)古野電気の新型ソナー (全自動方向魚群探知機 FH-103) ・(写真解説)東京計器のマリンレーダ 実用型 MR-100 シリーズ	児島 毅 (三菱重工 長崎) 古野電気 東京計器	
1968-9「船舶」 VOL.41 NO.9 (昭和43年9月)	・レーザジャイロ ・船舶の自動化装置の故障とその原因	飯島幸人 (東京商船大) 玉木恕乎 (船舶技術研究所)	
1968-10「船舶」 VOL.41 NO.10 (昭和43年10月)	・タンカーの電気設備(1)	有賀哲郎 (石川島播磨 相生)	
1968-11「船舶」 VOL.41 NO.11 (昭和43年11月)	・タンカーの電気設備(2) ・(製品紹介)北辰電機 船舶機器展と新製品	有賀哲郎 (石川島播磨 相生) 北辰電機	オートパイロットIPS-2 主機リモコン、モニターなど
1968-12「船舶」 VOL.41 NO.12 (昭和43年12月)	・船用ディーゼル発電機の調速機の動作特性に ついて ・タンカーの電気設備 補説 ・(製品紹介)ノーザバッテリーについて ・(製品紹介)理化電機工業の新工場落成記念 展示会と新製品	糸井宇生 (川崎重工) 有賀哲郎 (石川島播磨 相生) (株)ノーザ化学 理化電機	ホーバクラフトに使用、 中性バッテリー 船用データロガー ZERO SCAN SYSTEM, レコーダ類を展示
1969-10「船の科学」 VOL.22, NO.10 (昭和44年10月)	・電子計算機搭載の超自動化タンカーの建造	三光汽船、IHI 東芝	

[メモ]

1. ロラン受信機 オールトランジスタ方式のものが現れた。
2. 船用水晶時計が開発された。
3. 電子計算機の利用についての記事が増えている。
コンピューティング・ロガー、国際自動化シンポジウム、航海ロガー、レーダへの応用など
4. 電波を用いた船舶速度測定装置(MARSMEC)の紹介あり。
5. ソナー型魚群探知機の解説記事あり、商品化も進みつつあった。